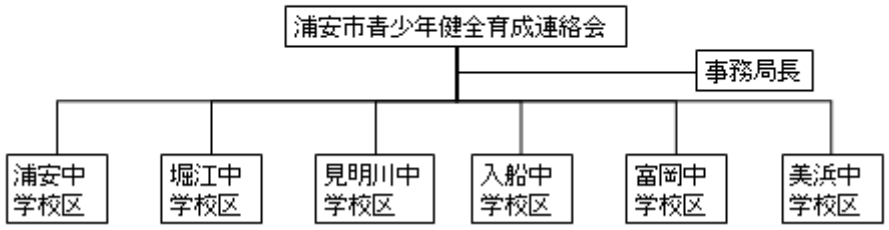
浦安市青少年健全育成連絡会は、地域における青少年育成運動を進めていく「青少年育成市町村民会議」という位置づけで、家庭・学校・地域が一体となって取り組むために組織されました。当時は本市の６中学校区（現在９中学校区）ごとに青少年関係団体・機関からなる青少年健全育成連絡会あるいは委員会がありましたが、浦安市青少年相談員連絡協議会が中心となって、その上部組織とし平成６年１０月２２日に浦安市文化会館において発足式を行い、設立されました。

設立当時の浦安市青少年健全育成連絡会

1. 運営組織図



2. 構成団体

○ 団体数(13)各区健全育成の構成メンバー

・青少年相談員・青少年補導員・保護司・自治会役員・民生委員
・小学校教職員・中学校教職員・高校教職員・幼稚園PTA
・小学校PTA・中学校PTA・高校PTA・子ども会育成会長

発足当時は、各中学校区の１３団体が構成メンバーとして青少年健全育成活動に携わりましたが、現在は保育園・公民館などが加わり、さらに地域を巻き込んだ活動を行っています。

・千葉県では

昭和４０年９月、中央青少年問題協議会から、当時の佐藤総理に青少年の非行防止策について、今後の青少年対策は、国民が一体となって実践活動をする組織を作る必要があるとの意見が提出され、同年１１月「青少年の健全育成及び非行防止対策」が閣議報告され、承認され、中央においてもこの運動を推進するための全国組織として、昭和４１年５月「社団法人青少年育成国民会議」が設立されました。(平成２１年８月解散)

これに呼応する形で、全国において青少年育成県民運動の推進母体として「青少年育成県民会議」の設置が進められ、千葉県は、昭和４１年５月３０日、全国に先駆けて２番目に設立されています。

平成２５年４月１日、公益財団法人千葉県青少年協会として新たなスタートをし、名称は、

公益財団法人千葉県青少年協会でも、中身は「青少年育成千葉県民会議」ということで、青少年健全育成運動の推進的役割を担っています。
市町村においては、地域における青少年育成運動を進めていく「青少年育成市町村民会議」を設置し、青少年育成運動を進めています。
発足当時のスローガンは「伸びよう伸ばそう青少年」。青少年の育成は、子どもたちが自らどのように成長していこうか、という気を起こさせ、それを大人が応援していく「主役は青少年」の時代でありました。その後、時代は変わり、親や大人が子どもたちに生きていく姿勢を示し、地域の子どもは地域の大人と親が力を合わせて育てていく「大人が変われば、子どもも変わる」というスローガンに変わり、今日の青少年健全育成運動の柱になっています。

・青少年育成とは

青少年が社会あるいは地域の一員としての役割と責任を自覚し、心身ともに健康でたくましく育つための環境づくりを推進していくことです。

・主な活動は

「いちょう１１０番」

「標語コンクール」
「街頭キャンペーン」
「浦安市たこあげ大会」
「ダンスフェスタ」
「各中学校区活動」花いっぱい運動・薬物乱用防止講演会・SNS 被害防止講演会などを開催しています。